

除雪について



酒井さん 東区は降雪量が多いので、通学する子どもたちや高齢の女性のために歩道をしっかり除雪してほしい。交差点の排雪やマンホールの段差の改善などもお願いしたい。



市長 降雪量が少ない区の事業者が、多い区の除排雪の応援ができるなどの制度を作りました。マンホールのふたに断熱材を入れて段差ができないよう工夫していますが、全箇所ではありません。危険な状況を見たら、最寄りの役所までご連絡ください。

酒井さん 市の「冬のみちづくりプラン」の中に「建物を建てるときは地域内の雪はその中に、道路の雪も入れられるように」という目標がありますが、条例にしたほうがいいのではと思います。

市長 とても大事なご指摘です。皆さんにお願いしたいのは「敷地内の雪は外に出さない」「路上駐車をしない」です。除雪の後ご自宅の雪を道路に出すと、多くの皆さまの通行の支障になります。通学路確保のためにも守っていただきたいです。



石川さん 腰が悪くて除雪をするのが難しいので、ボランティアさんなどに除雪の支援をお願いしたいです。

市長 行政サービスが行き届かない部分は、ボランティアさんや町内会の方々が分担して補うことになります。自分で頑張れないときは助けてもらうなど、みんなが分担し合うことで、負担を軽減できるまちづくりをしていきたいです。

札幌のまちづくり

9月22日、5人の区民と上田市長が札幌の市政やまちづくりについて意見交換を行いました。
 今回は、その会場の様子や意見交換の一部をご紹介します。
 本誌6・7ページで、他区の発言内容も掲載しています。
 ぜひ、ご覧下さい！



東区での意見交換をきっかけに、こんな取り組みが始まりました

『高齢者向けにセミナーやシンポジウムの情報をもっと提供してほしいです』

高齢者向けに限らず、生涯学習センターで開催される公演や講座などを掲載した広報誌の発行回数を4回から6回に増加。また、教育委員会が後援するセミナーやシンポジウムなどをホームページ「観光文化情報ステーション」に掲載するようになりました。

『紙箱などの古紙回収をしては、燃やす経費や運搬費なども削減になると思います』

ごみ有料化と併せ、雑がみの無料収集を開始しました。

まちづくりのヒントはみんなの中に

